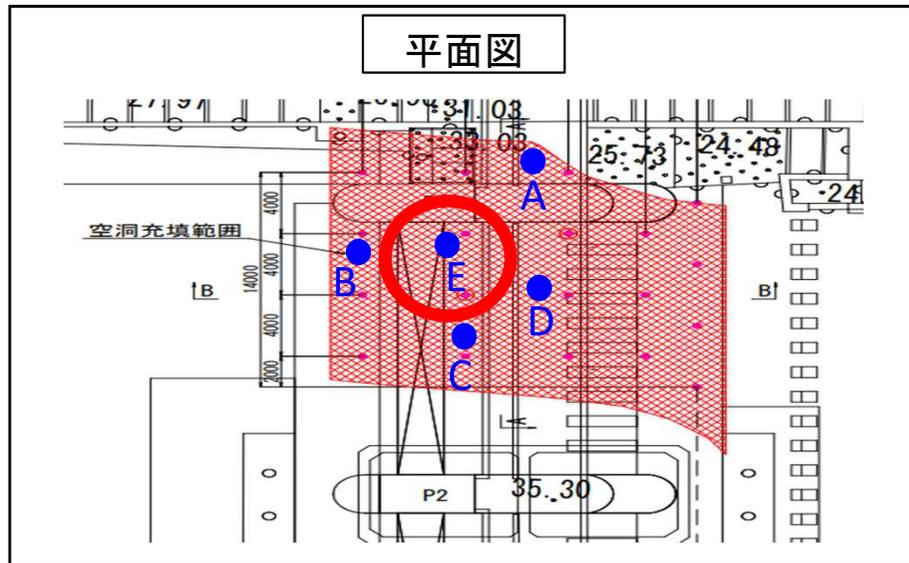
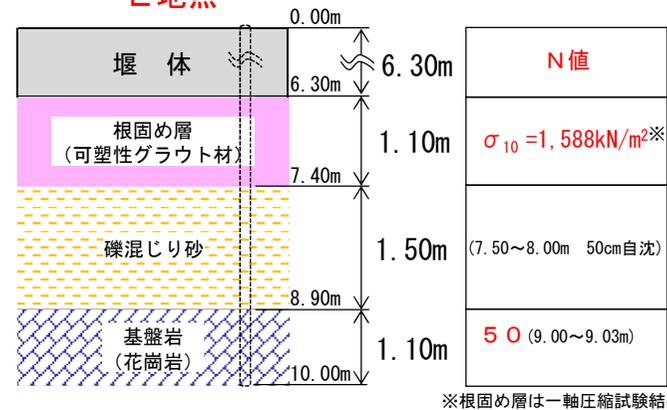




## 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

## P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [E地点] (9月23日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、E地点のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に1.1m厚の根固め層、その下に1.5m厚の礫混じり砂、さらにその下に基盤岩を確認。
- 礫混じり砂層の三軸圧縮試験の結果、粘着力(C)=47kN/m<sup>2</sup>、内部摩擦角( $\phi$ )=40.4°を確認。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、 $\sigma_{10}=1,588\text{kN/m}^2$ の強度を確認。  
(必要支持力：300kN/m<sup>2</sup>以上)

チェックボーリング状況  
E地点

深度8.00~8.90m区間において、採取できた試料は10cm程度。



礫混じり砂試料 (拡大)



根固め層の下に1.50m (深度7.40m~8.90m) 厚のN値0のきわめて緩い礫混じり砂を確認。モンケン(63.5kg)をのせた段階で50cm自沈。礫径は5mm程度。

基盤岩 (花崗岩)



礫混じり砂層の下にN値50以上の基盤岩(花崗岩)を確認。

